

【事業の経緯】

別添資料1

道建-2 一般県道諫早外環状線(諫早インター工区)道路改築事業の経緯

| 審議経過 | 再評価 の理由 | 工 期 | | 事業費 (億円) | B/C | 概要 |
|-----------------|----------------|-----|-----|-------------|------|---------------------------|
| | | 着工 | 完了 | | | |
| 当初 (H20新規評価) | — | H20 | H26 | 169.0 | 1.5 | 延長=3.8km 幅員=7.0(12.0)m |
| 第1回審議 (H24) | 事業採択後 5年経過 | H20 | H27 | 169.0 | 1.3 | 延長=4.3km 幅員=7.0(12.0)m |
| 第2回審議 (H26) | 社会経済情勢等 の変化 | H20 | H29 | 212.0 | 1.08 | 延長=4.3km 幅員=7.0(12.0)m |
| 第3回審議 (H28) | 社会経済情勢等 の変化 | H20 | H30 | 227.0 | 1.05 | 延長=4.3km 幅員=7.0(12.0)m |

※H23年度の委員会の中で、再評価・事後評価の経緯が求められたことにより、今年度より様式が追加になっています。
 ※今回は第1回審議の場合も、「提出もれ」を防ぐ為に、提出をお願いします。

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路建設課
担当課長名：大塚 正道

| | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|--------------|------|--------|
| 事業名 | 一般県道諫早外環状線（諫早インター工区） | | 事業区分 | 一般県道 | 事業主体 | 長崎県 |
| 起終点 | 自：長崎県諫早市栗面町 至：長崎県諫早市貝津町 | | | | 延長 | 4.30km |
| 事業概要 | 一般県道諫早外環状線は、諫早市街地を通過・発着する交通を分散・導入することで、市街地内の交通混雑を緩和するものである。また、島原道路の一部を形成し、地域間の交流促進、産業の振興・経済活動の活性化に寄与する。 | | | | | |
| H20年度事業化 | 都市計画決定 あり | | H23年度用地着手 | H23年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 約227億円 | 事業進捗率 | 78% | 供用済延長 | 0.0m | |
| 計画交通量 | 13,400台/日（H42） | | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 1.05 (残事業) 11.6 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 22/250億円 事業費：21/248億円 維持管理費：1.2/1.2億円 | 総便益 (残事業)/(事業全体) 261/261億円 走行時間短縮便益：196/196億円 走行費用減少便益：38/38億円 交通事故減少便益：27/27億円 | 基準年 平成28年 | | |
| 感度分析の結果 | 残事業（全体事業）について感度分析を実施 【全体事業】交通量変動：B/C=1.01~1.10（交通量 ±10%） 事業費変動：B/C=1.04~1.06（事業費 ±10%） 事業期間変動：B/C=1.02~1.08（事業期間±1年） 【残事業】B/C=11.1~12.4（交通量 ±10%） B/C=10.5~13.0（事業費 ±10%） B/C=11.1~12.2（事業期間±1年） | | | | | |
| 事業の効果等 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市内ネットワークの形成（諫早市街地の慢性的な交通渋滞の緩和による社会活動の活性化） ・高速道路から島原半島へのアクセス性の向上（地域間の連絡時間短縮による地域振興及び緊急医療の支援） | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 「諫早市」・「長崎県商工会議所連合会」・「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より整備促進の要望が行われている。 | | | | | |
| 事業評価監査委員会の意見 | — | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | 島原道路の一部である愛野森山バイパス 延長1.8km (2/2) が平成25年12月21日に供用。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 平成27年度末までの進捗率は78%であり、用地買収も97%程度と進捗しており、今年度も用地取得を継続しつつ、盛土や橋梁等構造物の工事進捗を図り、平成30年度の事業完成を目指す予定である。 | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 事業着手時には把握できなかった事案による工事費の増と一部の用地取得の難航が課題。引き続き工事及び用地取得の進捗を図るとともに、事業認定申請の手続きを進めて、平成30年度の事業完成を目指す予定である。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | — | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。 | | | | | |
| 事業概要図 | | | | | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

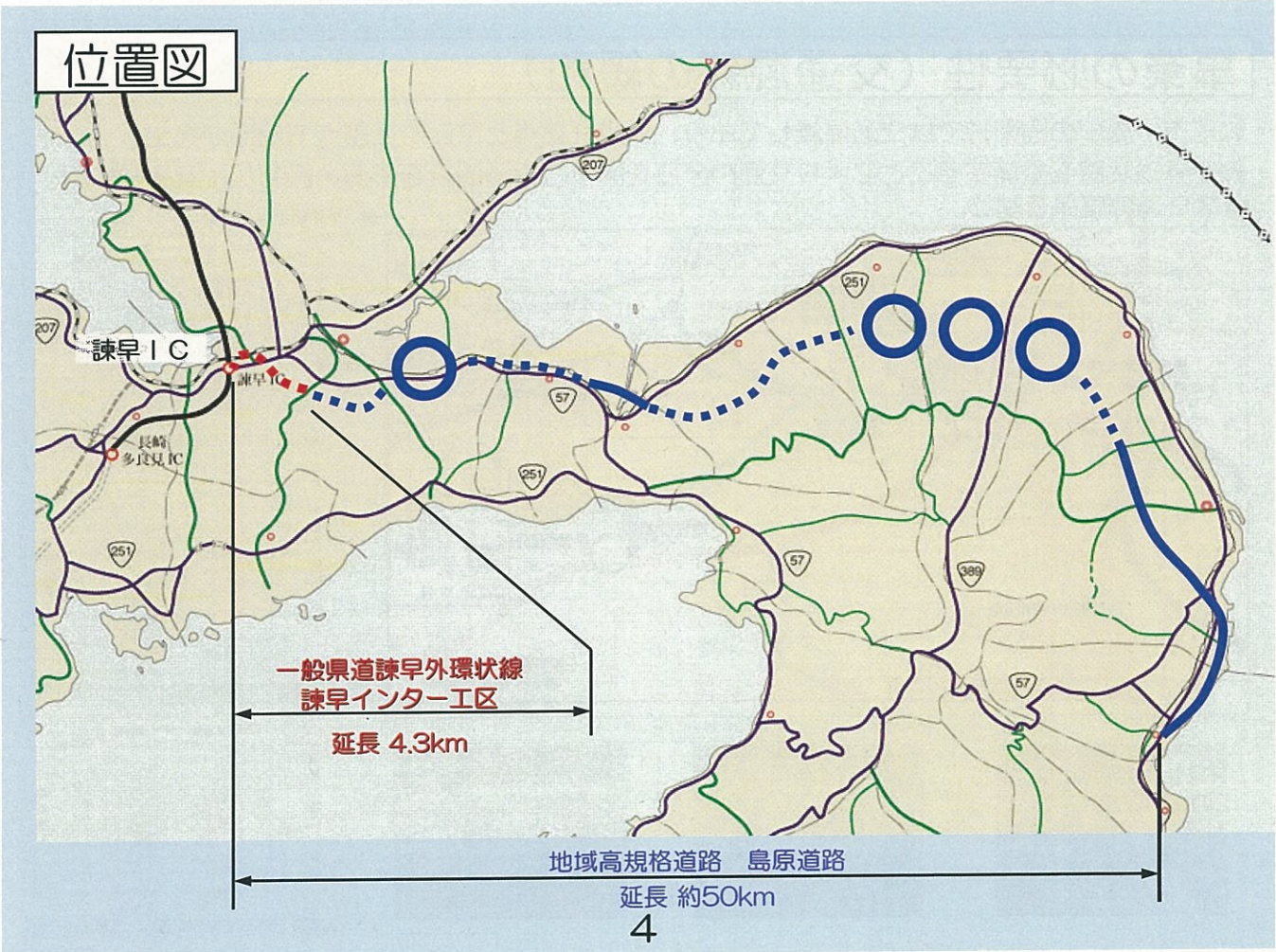
平成28年度
長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-1 道路改築事業
一般県道諫早外環状線
(諫早インター工区)

長崎県

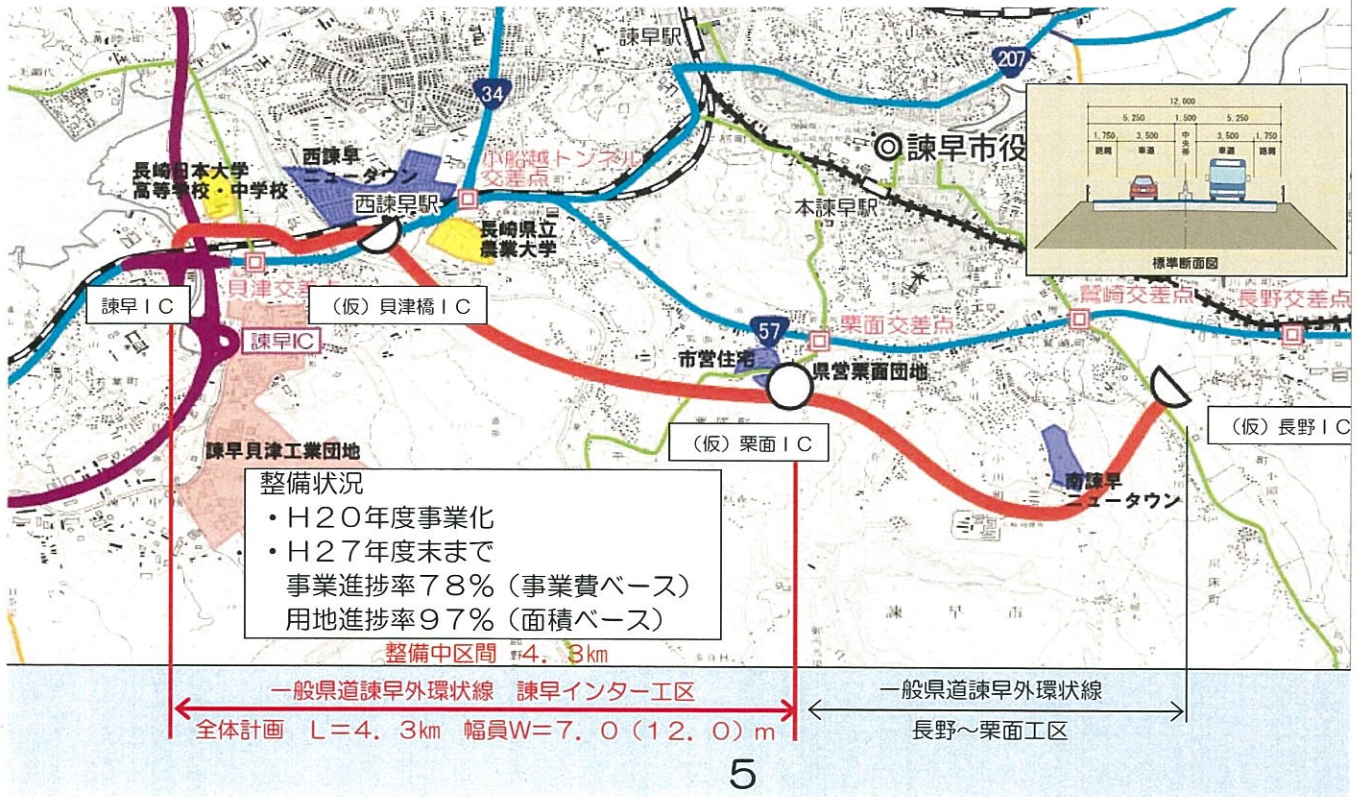
3



事業概要

◆事業の目的

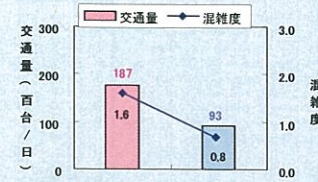
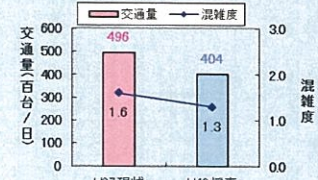
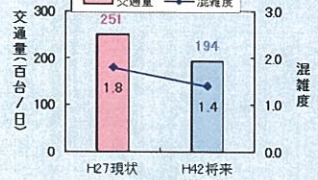
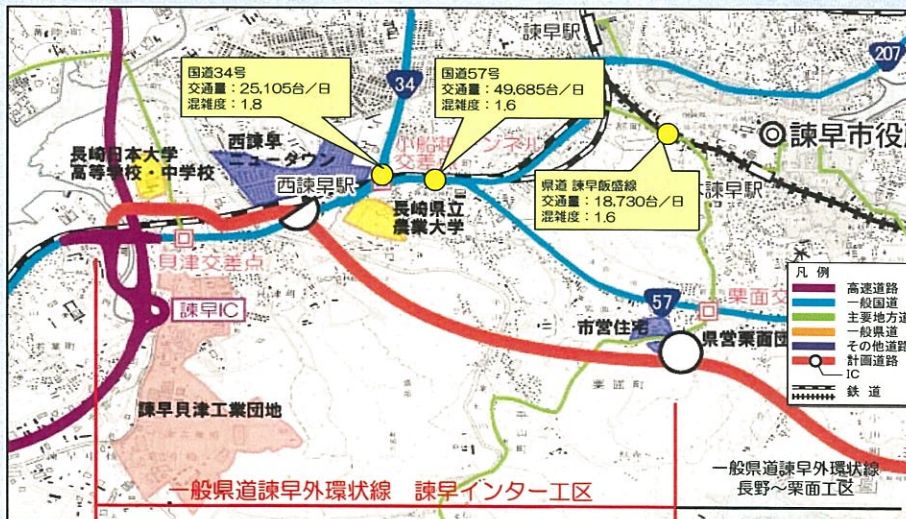
- 一般県道諫早外環状線「諫早インター工区」は地域高規格道路「島原道路」の一部として**広域ネットワークを形成**するとともに、環状道路として**諫早市中心部の渋滞を緩和**する事業。



事業の必要性 (交通混雑の緩和)

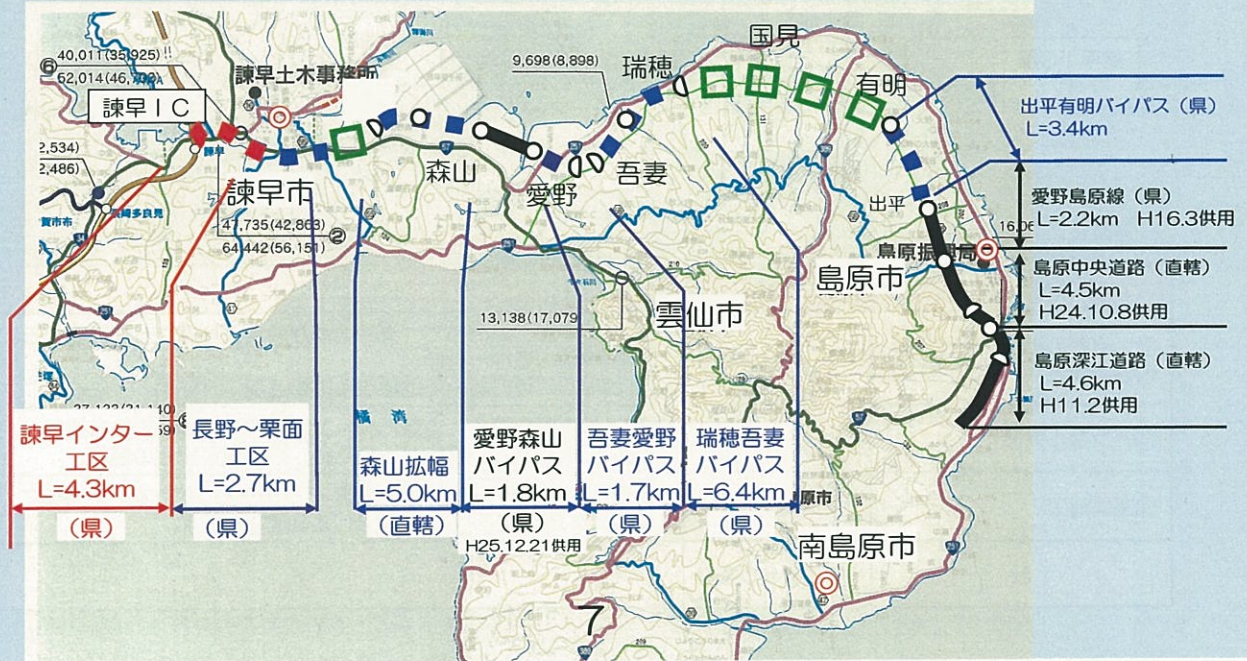
- 諫早市中心部の国県道では交通混雑しており、貝津交差点と栗面町交差点で渋滞が発生。
- 諫早外環状線を整備することにより交通の分散を図り、交通混雑を解消・緩和し、安全かつ円滑な交通の確保を図る。

■今後期待される効果



事業の必要性（広域ネットワークの形成）

- 一般県道諫早外環状線「諫早インター工区」は、地域高規格道路「島原道路」の一部であり、「諫早インター工区」を含む5工区を県、国道57号「森山拡幅」を国が事業中。
- 島原道路の整備により、南島原市深江町から諫早インターへ所要時間が90分から40分へ50分短縮され、島原半島地域と県央地域の地域交流を促進し、地域活性化が期待される。
- 島原半島には3次救急医療施設がなく、大村市にある3次救急医療施設への重度患者の搬送時間の短縮により、安全で安心できる生活の実現が期待される。



再評価に至った理由（1）

【完了工期】 H29（前回） → H30（変更）

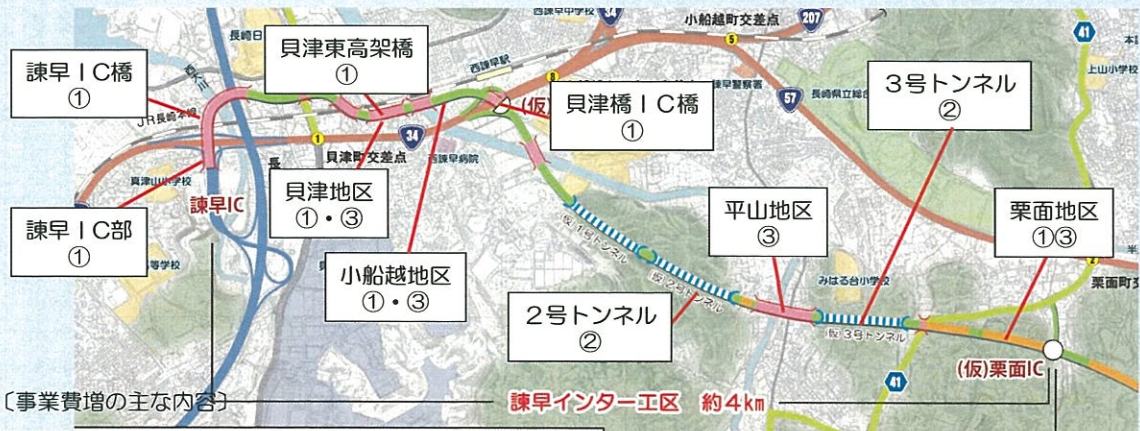
◆完了工期の延伸

- ①貝津東地区において、土地単価不満により用地取得が遅延。
- ②小船越地区において、代替地要求（不当要求）により用地取得が遅延



再評価に至った理由（２）

【事業費増】212.0億円(前回)→ 227.0億円(変更)



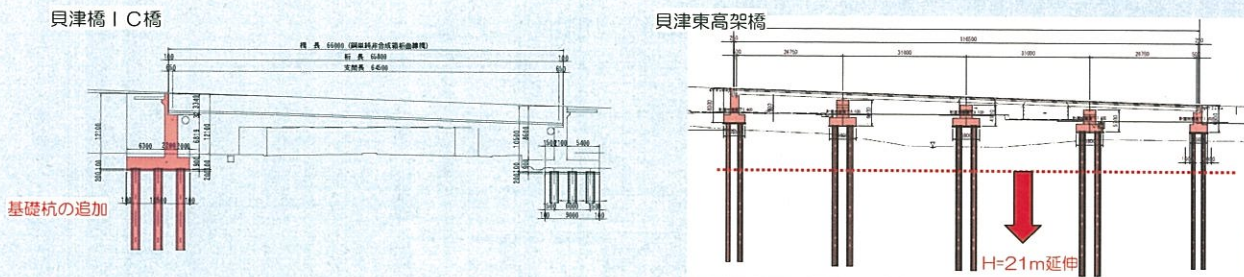
| 事業費増の内容 | 増額 | 主な増額理由 |
|-------------------|---------|---|
| ①土質等の相違に伴う工事内容の変更 | 約9.9億円 | 1) 橋梁下部工において、支持地盤が想定より深かったことから、杭基礎の追加・延伸 2) 諫早IC部等において地盤改良工の追加 |
| ②トンネル対策 | 約1.8億円 | 想定より土質が悪く、支保パターンの変更及び補助工法を追加。また、湧水が想定より多かったため、排水対策費用の追加。 |
| ③環境対策 | 約3.3億円 | 貝津地区・小船越地区・平山地区・栗面地区において、住宅街に近接しているため、騒音に配慮し遮音壁等を追加 |
| 計 | 約15.0億円 | |

9

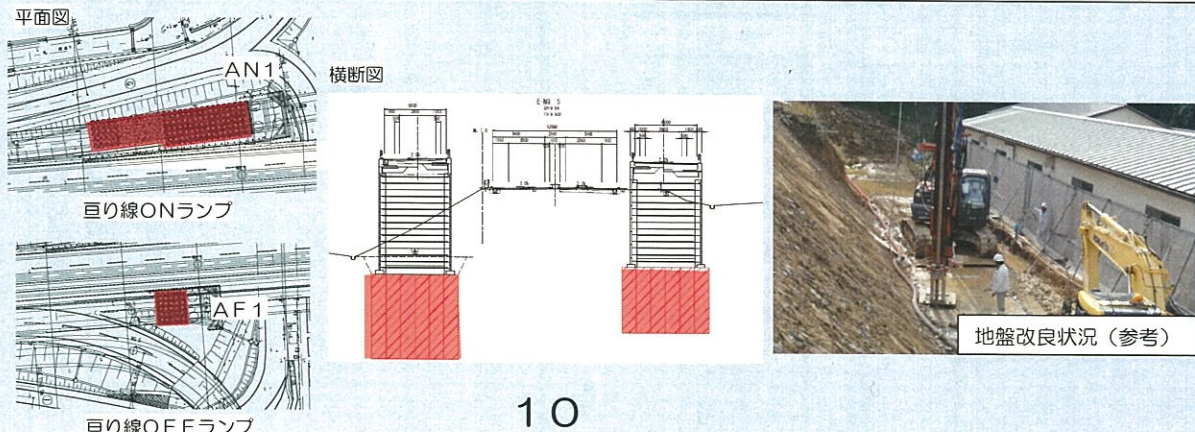
再評価に至った理由（２）

①土質等の相違に伴う工事内容の変更

○貝津東高架橋及び貝津橋IC橋において、支持地盤位置に相違があったため、橋梁基礎の杭長を延伸



○諫早IC部において、土質が想定より軟弱であったため、地盤改良工を追加

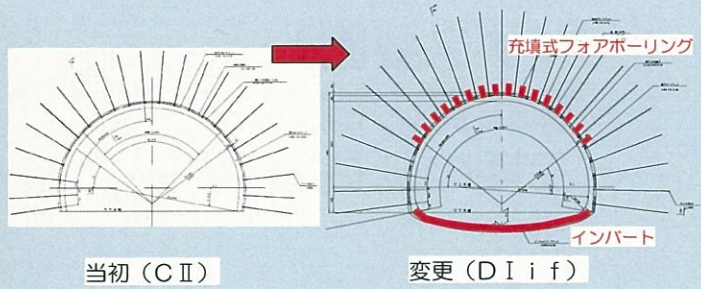


10

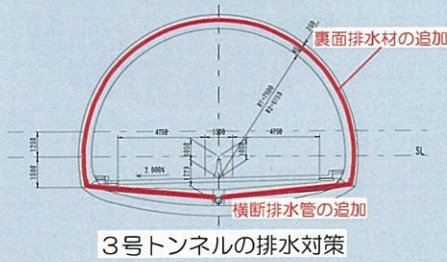
再評価に至った理由 (2)

②トンネル対策

○2号トンネルにおいて、岩質が想定より軟質であったため、掘削方法の変更及び補助工法を追加



○3号トンネルにおいて、湧水が想定より多かったため、排水対策費用の追加

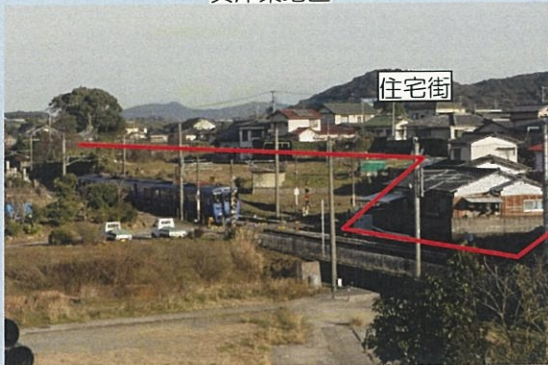


11

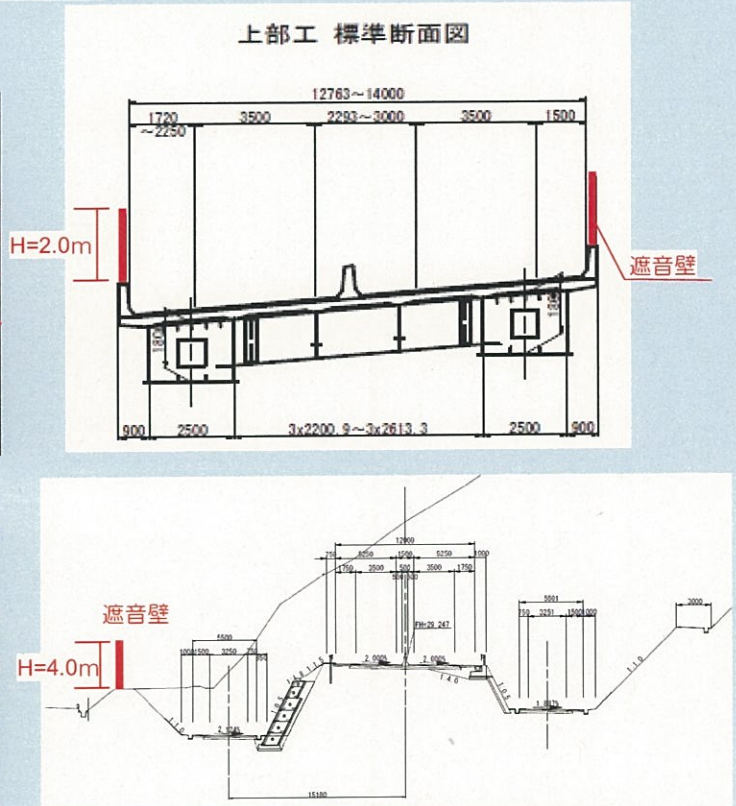
再評価に至った理由 (2)

③環境対策

貝津東地区



栗面地区



12

費用対効果分析

【B／C】 1.08（前回） → 1.05（現行）

〔マイナス要因〕

- 事業費の増（土質の相違に伴う工法の変更等）
- 工期の延長（用地取得の遅延）

